

2. 錠本体の組付と勝手の変更

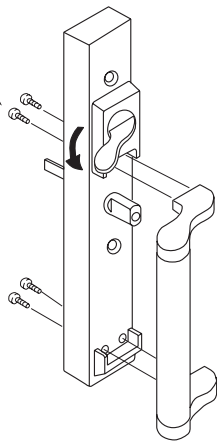
●勝手変更方法

本セットは、右勝手用になっています。扉の勝手が左勝手の場合は、下記の勝手変更に従って、ラッチ錠・レバーの勝手を変更して下さい。

扉の勝手 (図は扉を上から見た図です)	勝手変更
右勝手内開き 	勝手変更不要。 そのまま取付けて下さい。
右勝手外開き 	勝手変更不要。 そのまま取付けて下さい。
左勝手内開き 	下記(A)(B)に従って、 勝手を変更して下さい。
左勝手外開き 	下記(A)(B)に従って、 勝手を変更して下さい。

(A) 把手の変更

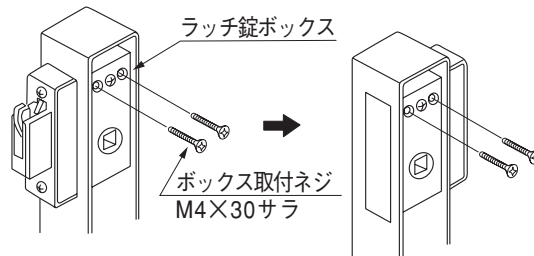
- 勝手を变更される場合は、把手を取り付けているナベネジをはずし、把手の向きを逆にして下さい。



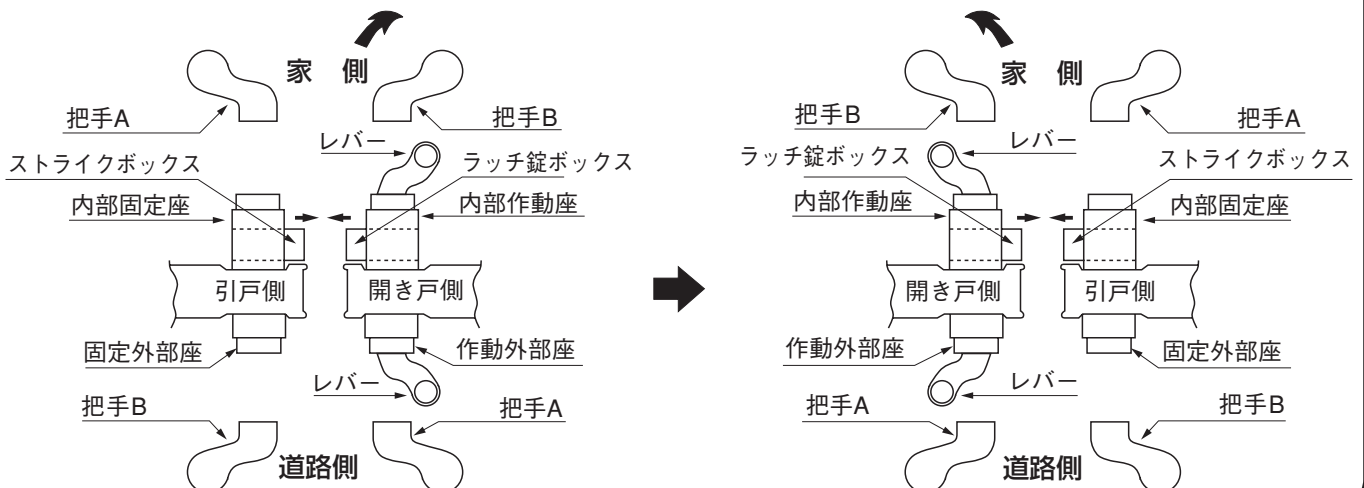
注)内部座の把手変更は錠ボックスを先にひき抜いて行って下さい。

(B) ラッチ錠ボックスの変更

- 下図のボックス取付ネジ(M4x30サラ)をとりはずし次にラッチ錠ボックスをひきぬき反対側よりはめ込み、取付ネジを取付けて下さい。

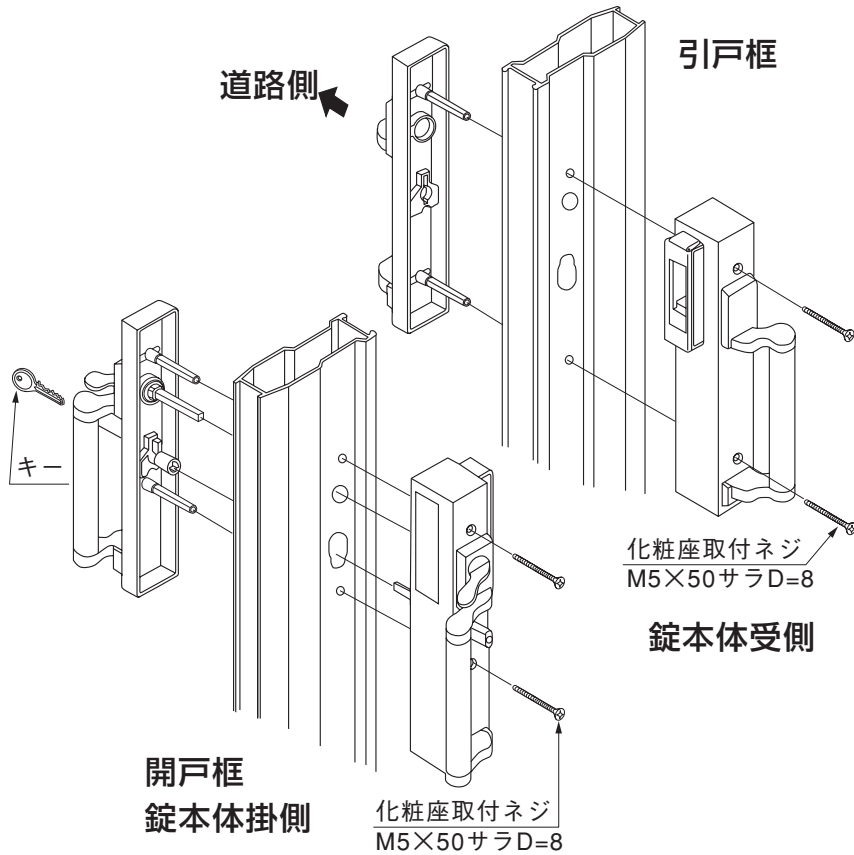


右勝手から左勝手への変更



3.錠の取付け

〔両開き〕



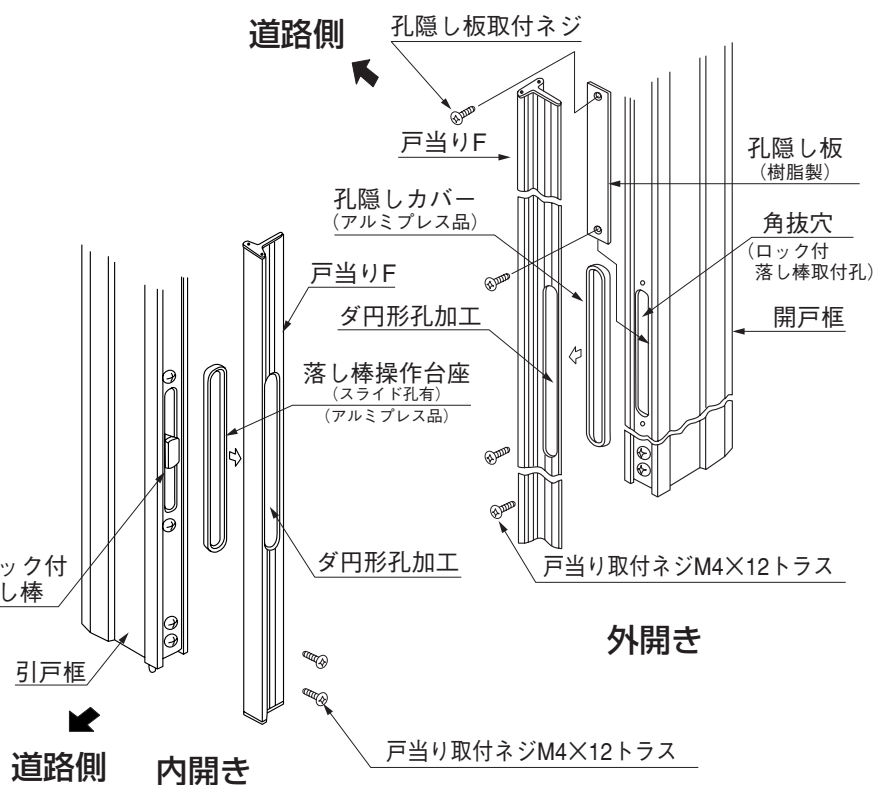
4.戸当りの取付け ●内・外開き仕様により「落とし棒操作台座」か「孔隠し

●戸当り部材Fを引戸框に付ける場合（内開き仕様）

- ・取付方法：引戸框にロック付落とし棒が付いているので戸当り部材Fに落とし棒操作台座を組付けてから引戸框にネジで取付けて下さい。
- ・引戸框に戸当り部材Fを取付ける時は「内開き仕様」になります。戸当りゴムが付いている側を道路側にして取付けて下さい。

●戸当り部材Fを開戸框に付ける場合（外開き仕様）

- ・取付方法：開戸框に「孔隠し板」が付いているので戸当り部材Fを取付ける前に取りはずし、ロック付落とし棒を付けた後、戸当り部材Fに「孔隠しカバー（アルミプレス品）」を取付けてから開戸框にネジで取付けて下さい。
- ・開戸框に戸当り部材Fを取付ける時は「外開き仕様」になります。戸当りゴムが付いている側を道路側にして取付けて下さい。



5. ヒンジの取付け

ポイント

- ヒンジにはヒンジ(上)とヒンジ(下)の区別があります。抜け止めネジがついているヒンジがヒンジ(下)です。
- 折戸仕様の場合は抜け止めネジは使用しませんので取外してください。

補足

- あらかじめヒンジにヒンジ裏板を仮組みした状態で吊り元框にスライドさせると簡単です。

ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。

内開き

外開き

ヒンジ取付け方向

6. 門扉の吊り込み

ヒンジ(下)の抜け止めネジをゆるめてください。

ワッシャーを調整金具シャフトに取付けてください。

調整金具シャフトにヒンジ(上)、ヒンジ(下)を差込み門扉を吊り込んでください。

ヒンジ(下)の抜け止めネジをしめこんでください。

7. 門扉の調整

高さ方向の調整方法

ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整します。

ポイント

- 門扉とG.Lのすきまは90mmが標準です。

間口方向および内外方向の調整方法

調整金具で調整します。

調整金具の調整方法

固定ボルトをゆるめてください。

ポイント

- 固定ボルトをしめたまま間口寸法の調整を行うと、固定ボルトが破損します。

調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

ポイント

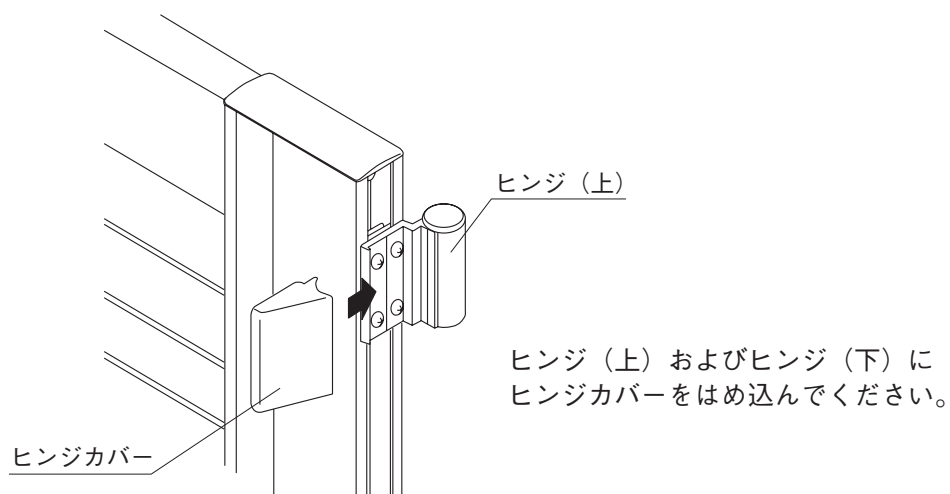
- 両開きの場合、合掌框と合掌框のチリ寸法は $5\pm 1\text{mm}$ に調整してください。
- 片開きの場合、合掌框と受け門柱のチリ寸法も $5\pm 1\text{mm}$ に調整してください。

内外寸法が決まりましたら、必ず固定ボルトをスパナで締めつけてください。

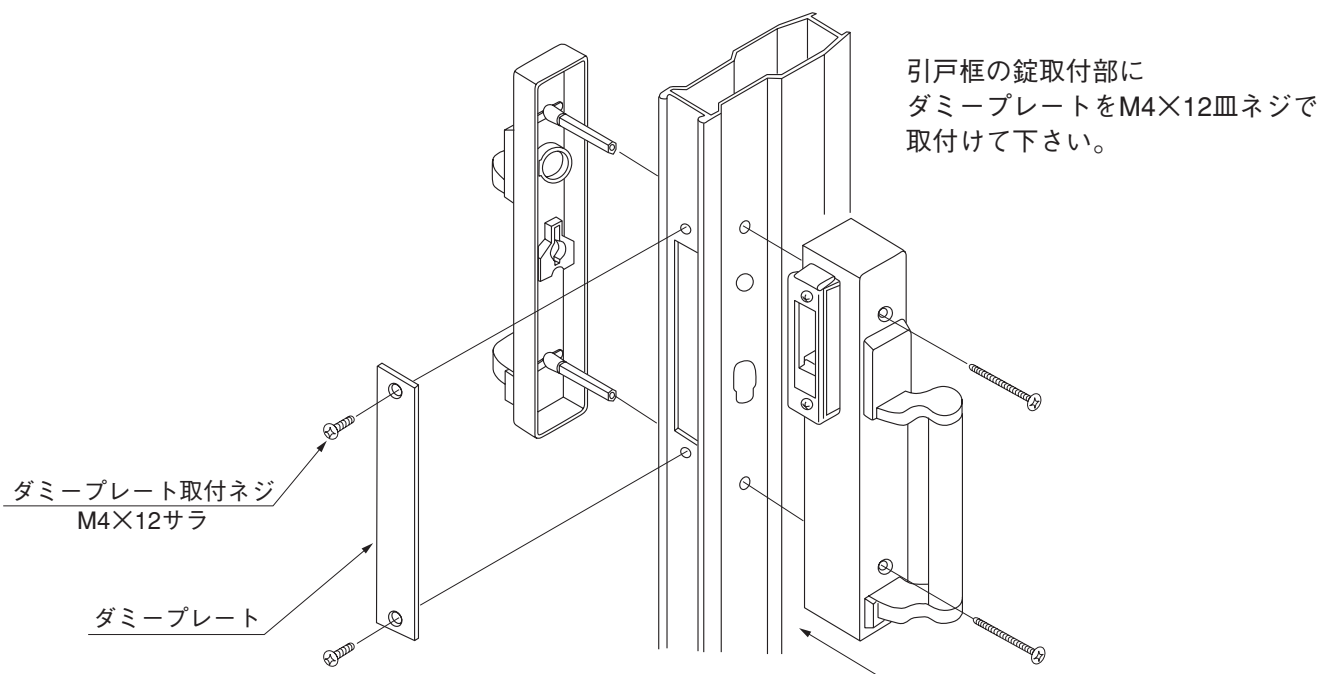
調整範囲

	調整金具H
内外方向	$\pm 4.5\text{mm}$
間口方向	$\pm 8.5\text{mm}$

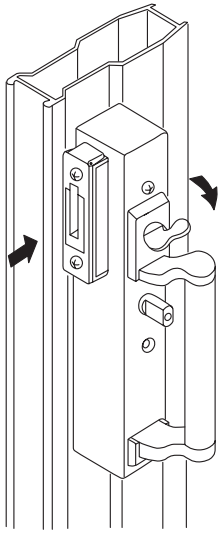
8. ヒンジカバーの取付け



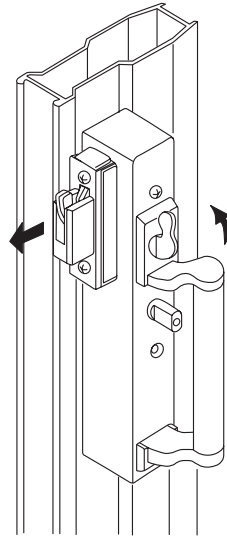
9. ダミープレートの取付け (外開きの場合)



10. 錠の操作方法



レバーを下げると
開錠します。



レバーを上げると
施錠します。



工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取って下さい。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- みだりに改造、変更は避けて下さい。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しく下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

D319

200209A_1005
200210B_1005